

実習・実技、企業連携等の取り組み

授業科目名	臨地実習(1年制)	授業時数又は単位数	495時間
実施期間	平成29年9月4日(月)～12月22日(金) 上記期間より学生1人7～14週間×1～2施設の実習を行う(合計14週間)。		
実習・演習等の目的及び概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療人のあり方の基本を学び、患者に対する思いやりの伴った態度を習得します。 2. 保健医療チームにおける視能訓練士の役割を理解し、医師・医療スタッフの人々と連携し、チーム医療の一員として社会に貢献できる態度を身に付けます。 3. 種々の疾患の患者さんにあつた具体的な検査方法、および治療方針を学びます。 1つの症例をもとに系統だった検査・治療方針を学び、実践感覚を身に付けます。 		
企業等との連携の基本方針	<p>学校で学んだ基礎科目・眼科専門分野における講義、校内での実習の基礎知識をもとに、臨床現場で検査方法・訓練治療の実際に触れ、「知識・技術・態度」を習得し、豊かな人間性と社会性を身に付けた視能訓練士を目指します。</p>		
企業等との連携内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 病院・眼科の役割 <ol style="list-style-type: none"> (1) 病院の方針・特徴を学び、その社会的役割を知る。 (2) 眼科の1日、1週間の流れを知り、その果たすべき役割を理解する。 (3) 医療チームにおける視能訓練士の役割、患者にとっての存在意義について考える。 2. 患者対応 <ol style="list-style-type: none"> (1) 受診される患者の状況(社会的側面、心理的側面など)を理解する。 (2) 指導者・現場のスタッフの患者対応を観察し、ソーシャルマインドに触れ、コミュニケーションスキルを体得する。 3. 基礎知識と課題発見 <ol style="list-style-type: none"> (1) 実際の検査を通じこれまでの知識技術を確認 		
学修成果の評価方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 総実習時間495時間 2. 履修認定 <p>次の事項が満たされたとき、履修が認定される。 (ア) 4分の3以上の出席と実習評価合格点に達していること。 (イ) 実習ノートを期限内に学校に提出していること</p>		

実習・演習等計画

日程	実習・演習等の内容	実施場所		
初日	オリエンテーション 実習生の紹介 病院スタッフの紹介 病院内の案内 病院の特色の説明 実習中の注意点 その他	実習施設 (眼科外来)		
2日目～	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 眼科検査 問診 視力検査 屈折検査 調節検査 輻湊及びAC/A比測定 光覚検査 視野検査 色覚検査 瞳孔検査 眼位検査 両眼視機能検査 コンタクトレンズ </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 眼球運動検査 涙液検査 眼底写真検査 眼圧検査 超音波検査 電気生理学検査 中心フリッカー閾値測定 角膜形状検査 角膜内皮細胞検査 弱視レンズ 手術見学 その他 </td> </tr> </table>	眼科検査 問診 視力検査 屈折検査 調節検査 輻湊及びAC/A比測定 光覚検査 視野検査 色覚検査 瞳孔検査 眼位検査 両眼視機能検査 コンタクトレンズ	眼球運動検査 涙液検査 眼底写真検査 眼圧検査 超音波検査 電気生理学検査 中心フリッカー閾値測定 角膜形状検査 角膜内皮細胞検査 弱視レンズ 手術見学 その他	実習施設 (眼科外来)
眼科検査 問診 視力検査 屈折検査 調節検査 輻湊及びAC/A比測定 光覚検査 視野検査 色覚検査 瞳孔検査 眼位検査 両眼視機能検査 コンタクトレンズ	眼球運動検査 涙液検査 眼底写真検査 眼圧検査 超音波検査 電気生理学検査 中心フリッカー閾値測定 角膜形状検査 角膜内皮細胞検査 弱視レンズ 手術見学 その他			
連携する企業等	東邦大学医療センター佐倉病院、西葛西井上眼科病院、東京都立墨東病院 埼玉医科大学総合医療センター、東京都多摩総合医療センター等			